



< 2月号 >

# 朝三中だより

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

朝霞市立朝霞第三中学校  
令和6年1月22日発行

〒 351-0023  
朝霞市溝沼 1043-1  
TEL 048-464-7575  
FAX 048-467-4742

校長 嶋 徹

元日の能登半島地震により220人以上の方が亡くなり、今でも1万人以上が避難生活をしています。尊い命を奪われた方々のご冥福と被災地の復興を、心からお祈り申し上げます。

3学期は、1年間の仕上げになります。3学年は高校の入学試験、2学年はスキー林間、1学年は3日間の職業体験などがあります。進路の実現や成長につながる学習とするために、教職員が力を合わせて生徒の支援をしていきます。

## 自分の身は自分で守る！

表題は、これまで実施してきた避難訓練で繰り返し話をしてきた言葉です。1月10日(水)の避難訓練では、不審者が授業中、校舎内に侵入したことを想定して実施しました。自然災害もそうですがこのような人災も、いつどこでどのように発生するのかわかりません。

今回は、連絡を受けた複数の教職員が現場に急行して、防犯用具などで不審者を生徒から遠ざけて、生徒の安全を確保する訓練でした。各教室では、廊下側の出入り口や窓からの侵入を防ぐために、机や椅子を素早く積み上げて不審者の侵入を防ぎました。

すぐに避難するのか、状況を見て安全を確認した後で非難するのかなど、災害発生初期の対応が、命や安全の確保に直結します。発生時はパニックにならず冷静になって、状況を正しく捉え、適切に判断して行動できる人になれるよう、ご家庭でも話題にしてください。

## 幸せになる力

能登半島地震のニュースを見ると、日常の生活がどんなに幸せなことかを実感します。幸せの感じ方は、人それぞれです。けれど、心が健やかで穏やかな状態、充足感が得られる状態であることは共通事項だと思います。

以前読んだ本の中で、アメリカの宗教家の言葉が紹介されていたことを思い出しました。詳細な言葉は忘れてしまいましたが、「お金で買えるものは何もいない。ほしいのは心を満たすものだけだ。」という内容のものでした。若い時は働いてお金を貯めたり、社会的な地位を上げたりすることに一生懸命になる傾向があります。経験を重ねて一定の年齢になると考え方が変わってきて、心が健やかで穏やかであることを強く感じるようになるのかもしれない。

成長する中で、小学校6年間で身につけなければならない力、中学校3年間で身につけてさらに伸ばさなければならない力など、今後も経験を積んで段階的に高めていく必要があります。義務教育9年間は、その基盤を作る時期で、まず「頭・心・体」を鍛えていくことが大切です。どれも大切な「**幸せになる力**」です。

聞けるときに	聞いておかないと	決して聞けないコトバがある
言えるときに	言っておかないと	再び言えないコトバがある
つかめるときに	つかんでおかないと	死ぬまで無縁の宝がある
磨けるときに	磨いておかないと	光らぬまま朽ちていく宝がある
得たものを失う	その数よりも	得られずに失われたものたちの数の多さ
わずかな知恵と	わずかな努力が	それらに触れ得たかもしれないのに

宮澤 章二 「流れの中で」より

「一人一人が輝き 感動と笑顔があふれる学校」を目指して教育活動を実施しますので、引き続き、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。